

「さわやか」創立五周年記念式典・記念祝賀会を去る十二月九日(日)十一時から、八幡ロイヤルホテル・グランドホールで開催しました。式典には、全腎協小林常務理事をはじめ、市議会議員、行政、透析施設の先生、市腎友会の幹事、佐賀・長崎の友好事業所、ボランティアさん総勢百二名が参加しました。

創立記念式典・祝賀会開催 五周年 ～さらなる発展をめざして～

平成8年10月1日に通院介護センター「さわやか」は活動を開始しました。多くの皆様のご支援とご援助によりこの度、5周年を迎えるに至りました。

に驚き、この社会的入院の問題を解決せねばと、通院介護事業に踏み出したと述べました。

またお忙しい中、ご出席いただきました来賓の方々からもご挨拶をいただきました。

戸町市議会議員は、お父様が議員であると同時に透析患者であったことを話され、患者とその家族になつてみないと、その苦労や問題はわからなないと切実に訴えられました。

行政からは保健福祉局障害福祉課・五島主幹が挨拶に立ちました。福祉行政も年々進歩し、小規模共同作業所も

法人化の道がひらけてきたことを訴えられました。

「さわやか」に事業所を貸与していただいている、済生会八幡総合病院合院長は、「当病院は、腎臓病の患者さんの治療は先進的に行っているが、社会的問題にはあまりお手伝いできなかつたので、「さわやか」のお手伝いくらいはしなければと考え貸与を決めました。」と発言されました。

小倉第一病院中村院長は、ボランティア活動について、国際的視野にたち、日本のボランティアの現状がいまひとつである、ユーモアを交えて話されました。

全腎協小林常務理事は、通院送迎は、本来は行政の仕事であるが、仲間が仲間を助け合うという運動方針のもと、通院介護事業を始めることを決め、その第一弾が北九州市であったことを、理論だてて紹介されま



中村院長、毎年寄附金を寄せていただいた日産自動車カルロス・ゴーン社長に対し、江頭会長より贈呈されました。

祝電・メッセージ披露のあと、来賓と会長による鏡割りがありました。王子病院田中院長の音頭で、乾杯を行い、祝賀会に入りました。祝宴は、小倉祇園太鼓の競演から始まり、途中、列席者の中から飛び入りもあり、門司港腎クリニックの田中先生、かわいクリニックの川井先生、ほほえみ佐世保の岡さん、高倉市腎友会副会長が壇上に上がり、見事な腕捌き披露しました。

引き続き、福腎協毛利会長、長腎協北川会長、佐腎協富崎会長より祝辞を受けました。

ボランティアさん紹介では、山田・梶原両コーディネーターの進行により、一人ひとりエピソードを交えながら紹介されました。

最後は利用者を代表して、土井さんのお手紙のご紹介と藤本さんから感謝のお言葉



私たちは、この日の感動を励みにこれからも努力してまいりますので、ご協力よろしく願い申し上げます。(スタッフ一同)

**有難うございました
電報・メッセージ**

門司クリニック	院長 渡邊 和彦 様	千葉県腎臓病患者連絡協議会	会長 中村 和子 様
北九州ネフロクリニック	理事長 高杉 昌幸 様	NPO法人兵庫県腎友会	会長 豊永 清 様
医療法人敬天会東和病院	院長 東 泰宏 様	神戸市難病連送迎支援の会ジャスミン	副会長 高重 靖 様
船場クリニック	院長 藤井 光正 様	北九州市障害福祉団体連絡協議会	代表 伊丹 威 様
医師ヶ丘クリニック	院長 長谷川 治 様		会長 田中 博臣 様
医療法人松島クリニック	院長 松島 慶幸 様		福腎協事務局一同 様
社会保険小倉記念病院泌尿器科	主任部長 佐長 俊昭 様		通院送迎センター「ステップ福岡」スタッフ一同 様
医療法人八幡クリニック	院長 藤永三千代 様		健和会大手町病院腎友会 様
北海道難病連・釧路地方腎友会共同	通院介護支援センター「さわやか通院介護」	代表 上田 弘 様	株式会社ヤマモト商事 様
			所長 佐藤 信洋 様



事務局より
 年末年始のお休み
12/29～1/3です。
 来年もよろしく

編集後記
 十二月九日の五周年記念式典は大きな失敗もなく、無事終了することができました。ホッとすると暇もなく事務局では、新しい年を迎える準備に追われています。
 年末年始にかかわらずボランティア活動をしていただく方々には感謝しております。交通渋滞等あると思いますが、よろしく願致します。
 今年一年本当にお世話になりました。来年もよろしく願致します。皆様よいお年をお迎えください。